



# あさお 里山こどもクラブ

こどもたちが育つ足元の麻生の里地里山の恵みや不思議を  
探検・発見、そして体験するプログラム。

耳を澄まし目を凝らし、自分の手と体と心で感じ、  
自分の頭で考えましょう。

「不思議」がむくむく湧いてきたら調べてみよう、聞いてみよう！

秋の日曜日の午前、麻生の自然を見て ふれて 感じて 遊んで 学びました！

## ① 10月17日 自然は、友だち 夏のおとしもの、秋のお月様

講師 高柳芳恵 会場 麻生市民館実習室  
麻生区役所中庭



美しい秋のお月様のお話や絵本を紹介してもらい、中庭の木の観察、それから葉っぱや

木の実で沢山遊びました。ツバキ、カキノキ、グミ、ヤツデ、サクラ、マンリョウ、クチナシ



王禅寺ふるさと公園の左端を登って行きました。ケヤキの葉っぱや種、コナラ・シラカシのどんぐり etc いろいろな自然に出会うことができました。アオダモの青い光

## ② 11月7日 木の実・草の実 ふしぎだね いいものいくつ？

講師 高柳芳恵 会場 王禅寺ふるさと公園

にはびっくり！、ヒサカキの実では絵がかけます。ウラギンシジミも葉っぱの裏に。

## ③ 11月21日 五感で発見 里山の自然 どんな色？ 絵にかいて飾ろう！

講師 小林健人 会場 おっ越し山～柿生の里

「きれいだな」「ステキだな」「おもしろいな」と子どもたちは秋をたくさん見つけてくれま



した。描いた絵を散歩道に掲示しました。



一瞬マスクをはずして集合写真をパチリ。親子の皆さん、スタッフの力合わせで、無事に開催できました。学習と体験と遊びがうま

くかみ合うと楽しいね。

## ④ 12月5日 里山の収穫祭

里山の資源循環：落葉はき  
探検：ムクロジの実を探そう  
里山の恵み&修了式

講師 柿生の里クラブメンバー  
会場 おっ越し山～柿生の里

今年度もまだコロナ禍、ナラ枯れが続く中で、里山フォーラムのナチュラルリスト養成講座は原点に立ち返って、まちの現場を探訪しました。流域の地形や今昔の歴史を踏まえ、森づくりに、公園緑地の形成に、畑を耕し続ける人々に出会います。

風景は決して漫然とそこにあるものではなく、関わる人々の連綿とした営みがあるからこそその姿でもあります。

## 里地里山ナチュラルリスト養成講座

### 多摩丘陵のまち麻生の魅力

★里地里山★を 知って・学んで、 動こう！ あしたへ

第1回 日時 10月30日(土曜日) 13:30~16:00

### 多摩自然遊歩道の里山探訪

■ 五反田川流域から三沢川流域へ

小田急読売ランド前駅～多摩自然遊歩道～多摩緑地保全地区～麻生区健康の森～(寿福寺)～小沢城址～穴澤天神社～京王よみうりランド駅

■ お話 ・多摩緑地保全地区こもれびの会 加藤敬治

・麻生多摩美の森の会 田中肇 ・小沢城址里山の会 島岡功ほか

◎ 歴史豊かな地域で、長年に亘り守られ、次世代に繋ぐ森の魅力に出会いました。



第2回 日時 11月26日(金曜日) 13:30~15:30

### 湧水のある森：四ツ田へ行こう！

■ 早野川流域から黒須田川流域へ

王禅寺ふるさと公園～王禅寺四ツ田特別緑地保全地区～黒須田川～王禅寺源左衛門谷戸入口～山王社～尾根道～バス停へ

■ お話 (株)環境・グリーンエンジニア

植物：平城尚史 昆虫：佐久間聡 野鳥：菅野太郎

(協力 川崎市建設緑政局緑政部みどりの協働推進課 坂・森田、川崎市建設緑政局総務部企画課 栗林、NPO 国際自然大学校 小川)

◎ 湧水の流れる谷戸はその昔田んぼでした。水辺にはオシドリも飛来するそうです。キバナアキギリなども咲いていました。



第3回 日時 12月18日(土曜日) 9:30~11:30

### 古沢の畑に感謝を込めて

■ 麻生川上流域

新百合ヶ丘駅～流れの合流地点～古沢の谷戸の畑～古沢の山の上(大久保)の畑～麻生市民館

■ お話 ・鈴木章夫 ・山崎優 ・佐藤勲

◎ 都市の奇跡の農地古沢で畑を見学しました。鈴木章夫さんの万福寺人參の畑では90cm級が次から次へと掘り出され、皆感動でした。



写真 東川禊男

受講希望者が多く、定員とスタッフを増やして対応しました。

踏査の下見は矢野敬二・内海陽子・石井よし子、案内・資料作成は石井よし子が行いました。

# 里地里山カフェ塾



## 万福寺鮮紅大長人参

6月5日(土曜)「種」と資料の配布をしてから半年あまり、小さな種は長ーい人参に成長できたでしょうか。12月18日(土曜)午前中のナチュラルリスト養成講座では古沢の畑の試掘を終え(この様子は佐藤勲さんがビデオで撮影)、午後から「第22回万福寺人参品評会ー私の万福寺人参を語り合う会ー」を開催しました。26組ほど並んだ人参は圧巻でした。実習室での審査中は隣の料理室へ移動し、万福寺人参と取り組むそれぞれの活動や栽培の苦労、喜びなどを語ってもらいました。田中龍平さんの「万福寺人参イメージカラー」というユニークな取り組みの紹介もありました。千代ヶ丘小学校、金程小学校、和光大学、明治大学の皆さんも多く参加し活発な質疑応答がなされ、会場はとても若返って次世代に継承されている感がありました。なお今年度もこの人参の特徴である甘みとこく(味覚賞)は審査できませんでしたが、審査委員 成松次郎 長瀬和徳 岩本陽児 三瓶清美 野口聡)による厳正な審査のもと、以下の賞が決まりました。最優秀賞-鈴木章夫、香り賞-日下部光代、姿賞-原田倫子、ユニーク賞-竹内久雄、特別賞(努力)-金程小2年生、千代ヶ丘小5年生、特別賞(2本揃い)-高橋八重子、特別賞(掘る努力)-明治大学・山村拓 (万福寺人参友の会共催)



## からむし講座



### 映像とワークショップで楽しむ からむしボランティア研修

麻生区の地名が由来する植物「麻」からむし(芋麻)  
縄文時代からの人と自然のかかわり-文化をつむぎ、伝えていくボランティア研修です。

7月25日(日曜) 麻生市民館料理室

・映像 午前10時~12時 ・ワークショップ 午後1時~3時

#### 映像で楽しむからむし文化

- 「麻生ふるさとを巡ってー区名の由来」
- 麻生区役所 制作 日本映画学校
- 「日本の姿ーからむしと麻」
- 制作 民芸文化映像研究所

#### ワークショップ：からむしでつくる楽しみ

- 刈り取った「からむし」から繊維をとる作業(芋引き)
- ◆ 糸や紐にしてみよう!
- ストラップ、シトラスリボンなど 何が出来るか?



麻生区の地名の由来と言われる 麻-芋麻(からむし)。人々はからむしの繊維で紐や糸を作り衣服、漁網、紙などをつくり暮らしに役立てていました。7月25日(日曜)の「からむしボランティア研修」では、木綿以前の繊維：麻や芋麻を学び、芋引きして繊維を抽出し、いつでも使えるように乾燥させました。裂いて細くしたものでは撚って縲って糸づくりにチャレンジ。ムクロジの実でストラップを作りました。濡れている状態の繊維ではコロナ禍の収束を願い、叶結びでシトラスリボンを作りました。



コロナの感染状況の合間を縫っての講座やイベントを開催するのは誰しもが経験しているように大変難儀なことです。ボランティアスタッフや参加者の皆様、職員、関係各位の協力の賜です。心から感謝申し上げます。なおボランティアを随時募集中です。下記へご連絡ください。

主催 里山フォーラム in 麻生/麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)

里山フォーラム E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070-6426-6123 麻生市民館 TEL 044-951-1300

[だより編集,文責-石井 写真-雛倉、山口、石井]